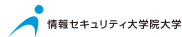


# Welcome to ISS square

世界に通用する情報セキュリティスペシャリストを育成しよう。  
情報セキュリティスペシャリスト教育のスタンダードを世界に向けて発信しよう。  
学界・産業界の枠を超え、大きな使命感を共有した斯界の第一人者たちの力を集結しました。



## プログラム連携各機関からみなさまへ

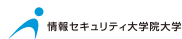


情報セキュリティ大学院大学  
学長  
情報セキュリティ研究科長  
教授  
ISSスクエア代表

**後藤 厚宏**  
Atsuhiko Goto

情報セキュリティが対象とする領域は日々膨張しています。この広い技術領域に取り組むためには、大学や企業、研究機関の相互の協力が必須です。本プログラムは、組織を超えて研究者・技術者が連携し、情報セキュリティ分野における世界最高水準の人材を育成するプログラムです。充実した講義群により、幅広い学ぶとともに、企業や研究機関でのインターンシップや、実務家からの最新情報を交換しあうオムニバス講義、分野横断型研究会を通して、未知な課題にチャレンジできる能力を身につけることができます。また、学生、実務家、教員に跨って形成できるコミュニティは一生の財産になります。本プログラムを活用して、情報セキュリティにおける世界のスペシャリストとして活躍されることを期待しています。

1984年東京大学・工学博士。NTTおよびICOTにて並列マシンの研究開発に従事。90年代に米国でNTT研究所分室を開設し、Web応用プロジェクトを推進。帰国後、新規インターネット事業を立ち上げ。研究所長としてセキュリティ、クラウド、メディア処理の研究開発を推進。2011年7月より情報セキュリティ大学院大学教授。2017年4月より同学長。情報処理学会フェロー。



情報セキュリティ大学院大学  
情報セキュリティ研究科  
教授

**有田 正剛**  
Seiko Arita

情報セキュリティ大学院大学では、2004年の開学以来、新しい学問の体系化と専門家の育成を旗印に、情報セキュリティ専門の大学院大学として教育と研究に携わってきました。このISSスクエアプログラムでは、情報セキュリティの現場で活躍されている、多くの連携企業の方々にご協力頂き、時代に即応した専門知識と実務的能力を兼ね備えた人材を育成するためのプログラムを用意しています。あなたもぜひ、このISSスクエアに参加して、個別の修士論文テーマの追及だけでは得難いような、幅広い視野とタイムリーな課題意識そして横断的人脈を培ってください。

京都大学大学院理学研究科数学専攻修了、中央大学大学院理工学研究科情報工学専攻修了。博士(工学)。日本電気株式会社インターネットシステム研究所主任研究員を経て、2004年4月より情報セキュリティ大学院大学教授。主な研究対象領域は、暗号理論。



(国研)情報通信研究機構  
サイバーセキュリティ研究所  
所長

**宮崎 哲弥**  
Tetsuya Miyazaki

身の回りのモノがネットワークにつながるIoT時代の利便性の陰で、セキュリティ対策が喫緊の課題となっています。さらにIoT機器から集約されたビッグデータの利活用にあたって、情報漏えいやプライバシーの問題などサイバーセキュリティが扱う課題は日々拡大しています。情報通信研究機構ではこのような課題に対して産学との緊密な連携により研究開発を進めています。ISSスクエアでチャレンジされる皆様が、巧妙化するサイバー攻撃から我が国を守るエキスパートとなれることを期待します。

2002年(独)通信総合研究所入所(現 NICT)。超高速光通信、全光信号処理、光ネットワークの研究に従事。2016年4月より現職。



沖電気工業(株)  
経営基盤本部政策調査部  
上席主幹

**杉尾 俊之**  
Toshiyuki Sugio

"Open up your dreams", OKIのブランドスローガンは、世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開くことを表しています。安心、安全な社会の実現に向けて、情報セキュリティの世界で皆さんと一緒に夢の扉を開いてゆきましょう。

1982年沖電気工業株式会社に入社。人工知能、自然言語処理の研究開発に従事。機械翻訳システムの開発などを経験し、1998年より、技術経営、経営戦略企画業務に従事。



中央大学  
理工学部 情報工学科  
教授

**牧野 光則**  
Mitsunori Makino

このプログラムでは、中央大学の建学の精神「實地應用ノ素養ヲ修メ」やこれに基づくユニバーシティ・メッセージ「行動する知性」にも合致した、情報セキュリティの中核分野を深く理解し、長期的な技術の方向性をふまえてマネジメントや研究開発ができる人材を、講義、実践、リサーチを通じて養成します。毎日発生している情報セキュリティ上の課題をも踏まえて考察する、中長期的な解決策を具現化して社会に貢献できる知識、能力、ならびに、行動特性を習得しませんか。幅広いバックグラウンドをもつ皆さんの積極的な参加を歓迎します。

1992年早稲田大・博士(工学)。1992年～中央大学勤務。2004年より教授。2009～2013年理工学部長補佐。2009年～理工学部「段階別コンピテンシー育成教育システム」取組担当。2003～2008年21世紀COEプログラム「電子社会の信頼性向上と情報セキュリティ」事業推進担当者。2007年～ISS Square 幹事(中大担当)。



国立情報学研究所  
准教授

**吉岡 信和**  
Nobukazu Yoshioka

いまやソフトウェアはあらゆる機器やモノをネットワーク経由で制御し、セキュリティの考慮はソフトウェアを開発するすべての技術者の責務になっています。国立情報学研究所は、情報セキュリティ大学院大学と共同で、ソフトウェア開発におけるセキュリティ技術を長年研究しています。ISS SQUAREでは、その知見を活かし、セキュリティ・バイ・デザインの要となるセキュリティ要求分析の科目を提供しています。ぜひ、本科目を受講し、ソフトウェア開発における最新のセキュリティ技術を学んでください。

国立情報学研究所 准教授、総合研究大学院大学 准教授、IEEE Computer Society Japan Chapter Chair、日本ソフトウェア科学会 監事。



(国研)産業技術総合研究所  
理事  
情報・人間工学領域  
領域長

**関口 智嗣**  
Satoshi Sekiguchi

私たちの生活や産業はデジタルシフトによる社会活動の最適化や未来の予測精度が高まっています。超分散されたセンサー群からデータを集め、価値を生み出すデータセンターやクラウドを超集中化することには経済的合理性があります。しかし、データ防護セキュリティの観点からすれば大きなリスクを包含することでもあり、費用対効果のアセスメントと運用時のPDCAサイクルが重要になります。このプログラムでは特定の技術を学ぶだけではなく、社会受容性の観点からバランスの取れたセキュリティを考える貴重な機会を提供してくれるでしょう。

1982年東京大学情報科学科卒、1984年電子技術総合研究所入所、並列コンピュータの研究開発に従事。産業技術総合研究所においてグリッド研究センター長として分散コンピューティング(グリッド/クラウド)の研究開発を主導。情報処理学会フェロー。博士(情報理工学)、技術士(情報工学)。



(株)KDDI 総合研究所  
取締役 執行役員 副所長  
総務部門長・セキュリティ部門長

**田中 俊昭**  
Toshiaki Tanaka

ICT分野で技術のオープン化が進んでいます。オープン化は低コストや利便性向上などの多くの恩恵を利用者にもたらす半面、仕様が公開されるために様々なセキュリティ問題に直面しなければなりません。また、位置情報サービス、モバイルコマースなど、携帯電話が個人の生活と密接な関係をもつ昨今、利用者のプライバシー保護もますます重要な課題となっています。弊社では、安心・安全な情報通信サービスの実現を目指し、暗号・認証、攻撃検知、ソフトウェア保護などの要素技術から、新たなセキュアサービスを生み出すアーキテクチャに至るまで、幅広い研究開発に取り組んでいます。

1986年大阪大学大学院工学研究科通信工学専攻。KDDI入社、研究所勤務。情報セキュリティ技術、モバイルセキュリティ技術、ネットワークセキュリティ技術の研究開発に従事。2017年4月より現職、工学博士。

